

令和6年度専攻科入学者選抜学力検査問題

数 学

(注意)

- 1 学力検査問題は指示があるまで開かないでください。
- 2 問題用紙は1ページから4ページまでで4枚あります。また、解答用紙は2枚あります。検査開始の合図のあと確認してください。
- 3 答えは、すべて解答用紙の解答欄に記入してください。
- 4 解答用紙には、それぞれ受験番号、氏名を記入してください。
- 5 問題及び公表用解答の無断転載を禁じます。

茨城工業高等専門学校

1 次の各問いの空欄に、適当な式または数値を記入しなさい。

(1) $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{e^{2x} - e^{-2x}}{e^x - e^{-x}} = \boxed{\text{①}}$ である。

(2) $f(x, y) = \frac{y+1}{x+1}$ のとき、第1次偏導関数は $f_x = \boxed{\text{①}}$, $f_y = \boxed{\text{②}}$ であり、第2次偏導関数は $f_{xx} = \boxed{\text{③}}$, $f_{xy} = \boxed{\text{④}}$, $f_{yy} = \boxed{\text{⑤}}$ である。よって、2次までのマクローリン展開は

$$f(x, y) = \boxed{\text{⑥}} + \boxed{\text{⑦}}x + \boxed{\text{⑧}}y + \boxed{\text{⑨}}x^2 + \boxed{\text{⑩}}xy + \boxed{\text{⑪}}y^2 + R_3$$

となる。ただし、 R_3 は剰余項である。

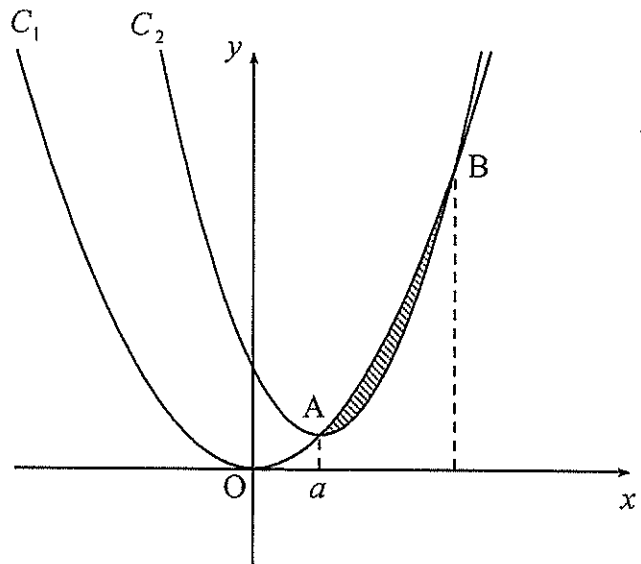
(3) 次の2重積分について、積分の順序交換を行って積分すると

$$\int_0^1 \left(\int_x^1 e^{3y^2} dy \right) dx = \int_{\boxed{\text{①}}}^{\boxed{\text{②}}} \left(\int_{\boxed{\text{③}}}^{\boxed{\text{④}}} e^{3y^2} dx \right) dy = \boxed{\text{⑤}}$$

である。

2 次の各空欄に、適当な式または数値を記入しなさい。

放物線 C_1 は関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフで、このグラフ上に点 A をとり、その x 座標を a とする。ただし、 $a > 0$ とする。放物線 C_2 は点 A を頂点とし、 x^2 の係数が 1 である関数のグラフとする。放物線 C_2 は a を用いて、 $y = x^2 + \text{①}x + \text{②}$ と表され、 C_1 と C_2 のもう一つの共有点 B の座標は B (③ , ④) となる。 C_1 と C_2 によって囲まれた図形の面積 S は $S = \text{⑤}$ となり、 $S = \frac{9}{4}$ となるときの a の値は $a = \text{⑥}$ である。



3 次の各問いの空欄に、適当な式または数値を記入しなさい。

(1) 線形変換 $\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 & 0 \\ 2 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$ による $y=2x$ の像は $y = \boxed{\text{①}}$ である。また、この

線形変換による $y=ax$ の像が $y=-3x$ となるとき、 $a = \boxed{\text{②}}$ である。

(2) 行列 $A = \begin{pmatrix} 1 & 1 & x \\ 1 & x & 1 \\ x & 1 & x \end{pmatrix}$ の階数は、 $x = \boxed{\text{①}}$ のとき $\text{rank} A = 1$ 、 $x = \boxed{\text{②}}$ のとき

$\text{rank} A = 2$ 、 $x \neq \boxed{\text{③}}, \boxed{\text{④}}$ (ただし、 $\boxed{\text{③}} < \boxed{\text{④}}$ とする) のとき $\text{rank} A = 3$ となる。

4 次の各空欄に、適当な式または数値を記入しなさい。

$y = y(x)$ に関する微分方程式 $y^3 y' = y^4 + e^{-x}$ の一般解を求める。 $u = y^4$ とおくと、 u に関する微分方程式 $u' = \boxed{\text{①}}$ (ただし、 $\boxed{\text{①}}$ は y, y' を含まない) を得る。このとき、 $(ue^{-4x})' = \boxed{\text{②}}$ (ただし、 $\boxed{\text{②}}$ は y, y', u, u' を含まない) となるので、この式の両辺を x で積分すると、 $u = C \boxed{\text{③}} + \boxed{\text{④}}$ (C は任意定数) を得る。よって、与えられた微分方程式の一般解は $y^4 = C \boxed{\text{③}} + \boxed{\text{④}}$ である。さらに、 $y(0) = 1$ を満たす解は $y^4 = \boxed{\text{⑤}}$ である。